

14号 特集 やどかりの里設立 30 周年記念国際セミナー

明日の精神保健福祉活動を描き出すために
新しい支援の枠組みとコンシューマーのイニシアティブ
学び合い，話し合い，創り合おう
カナダとやどかりの里の活動を素材として

2000年1月8日～9日にかけて，やどかりの里設立 30 周年記念国際セミナー，新しい支援の枠組みとコンシューマーのイニシアティブ「明日の精神保健福祉活動を描き出すために 学び合い，話し合い，創り合おうカナダとやどかりの里の活動を素材として」というテーマでやどかり情報館（やどかりの里の運営する福祉工場）で，カナダからの3人のゲストをお招きしてセミナーが開催された。このセミナーは，やどかりの里のメンバーと職員の共同の学習の機会となり，この学習を通じて，これからのやどかりの里の方向性や，大きくは日本の精神保健福祉の活動のあり方に大きな示唆を与えるものであった。私は，このセミナー開催に向けて中心に関わった1人である。本稿では，私の視点で，そのセミナーまでの取り組みをお伝えし，その中で私たちが今手にしているもの，そして大きな課題として見えてきたことを明らかにしたい。